

子どもが不登校になったときの相談先・支援機関リスト

設置区分	相談先・支援機関		受けられる支援の種類					参加方法		費用感
	名称	概要	子どもに対して				保護者支援	対面	オンライン	
			学習支援	進路指導	心理支援	集団活動				
公共 公立○	(1) 校内フリースクール (校内教育支援センターとも)	私立△ ・学校内公営「フリースクール」 ・公立小中の4-5割に設置済か	○	△	△	○	△	○	△	無償
	(2) 校内別室 (教室外/保健室/相談室等)	私立○ ・教室に入れない場合避難的に ・既存教職員が業務の傍らで対応	○	△	△	△	△	○	△	無償
	(3) 教育支援センター (旧 適応指導教室)	私立△ ・学校外公営「フリースクール」 ・在籍校に所属したまま通う	○	△	○	◎	○	○	—	無償
	(4) 学びの多様化学校 (旧 不登校特例校)	私立○ ・柔軟なカリキュラム運営を行う ・転校のうえ所属し通う	◎	○	△	◎	△	○	△	公立無償 私立有償
民間 公立○ 私立○	(5) 医療機関等 (メンタルクリニック等)	・メンタルクリニック ・カウンセラー	—	—	◎	—	△	○	—	有償
	(6) 親の会・コミュニティ	・不登校の子どもを持つ/持ったことのある保護者の集まり	—	—	—	—	◎	○	○	無償 実費程度 一部有償
	(7) フリースクール	・不登校に理解あるスタッフ多い ・一方で先進的な教育手法を望む家庭を対象とした施設もあり	○	○	△	○	△	○	△	有償
	(8) 不登校に配慮ある塾や家庭教師	・経営者や教え手も不登校経験がある/理解している団体も増加中	◎	○	—	—	—	○	△	有償

公立○ 公立学校に在籍する児童生徒が利用可能

私立○ 私立学校に在籍する児童生徒が利用可能

私立△ 左同 学校や地域によっては利用可能

◎：大いに期待できる ○：期待できる
△：一部期待できる —：あまり期待できない